

令和6年度の事業を終えて

会長 餌取 愛子

コロナの影響や社会の変化等で活動を継続するのが難しい中、今年は3回の講座を開くことができました。

○6月15日に「基調講演」と「子どもの安全を考えるつどい」を一緒に開催しました。推進会のメンバー6人が、この活動に参加することによって、一人一人が何を感じどう成長したかを具体的な成果を交え話しました。

○12月7日に「関係行政機関との懇談」で子どもたちの生活環境が安全になるように住民と行政が力を合わせ「協働」で地域の環境改善を進めるまちづくり活動になげられたら良いと再確認しました。

○2月1日に「取組団体報告会」を開催しました。今年は例年とは違った車座になっての報告でした。飯塚小、新小岩地区、宝木塚小、お花茶屋地区、奥戸小の皆さんが報告、質疑応答を交え和やかな報告会になりました。

この活動を継続していくために地域の大人の力が必要です。

今後も目的「安全なまちづくり、仲間づくり」に向かって丁寧に取り組んでいきたいと思ひます。



新小岩地区ワークショップ報告

令和6年11月16日(土)小松中武道場をお借りし、「子どもを犯罪から守る街の取り組み」としてワークショップを開催しました。当日は55名の方にご参加いただき、6班のグループに分かれ、実際に子どもが怖い目にあった場所を主に2ヶ所を検証し改善案を出し合いました。

① 「新小岩駅北口線路脇通路」

② 「小松橋下の児童遊園」

改善案をまとめ提出し、12月7日(土)関係行政機関との懇談会に出席し、質問等をしてきました。その結果、早速「防犯カメラ作動中」の看板を新しくしていただきました。今後も関係団体や行政機関と相談し、アドバイスをいただきながら、子どもたちが安全に暮らせる地域環境にするために活動を進めていきます。



青色から黄色になり見やすくなった防犯カメラ作動中看板

基調講演報告

～わたしたちが活動を通して得たもの～

太田 利枝（飯塚小学校）

私が子どもを犯罪から守るまちづくり活動に関わる原点は、地域の公園の改善です。地域にある水元総合スポーツセンター公園は、ポニースクールが併設していて多くの子どもが遊んでいます。しかし、トイレが汚く、破損もしていました。PTAの熱意があれば、トイレも綺麗になる、まちづくりに関われるこの活動を飯塚小PTAに紹介しました。本格的に活動したのは、平成23年度からです。子どもからのアンケートで怖い事、嫌な事が多くある事実を知りました。当時のPTA会長が、この地域から被害者も加害者も出たくないと言っていた言葉を思い出しました。

水元総合スポーツセンター公園は、平成28年から29年に全面改修されました。その改修説明会に飯塚小PTAに参加の連絡があり、遊具の設置場所やトイレの話など活発に意見交換をしました。また、飯塚小では平成29年から「子どもを見守るまちづくり委員会」という専門部を立ち上げました。最初の部会の時に私は支援担当者として、

子どもの安心安全について学区域でどんな事が起きているのか知り、大人たちが地域の為に活動しましょう…と話します。今後も地域の一員として、子どもたちを見守っていきたくと思っています。



平成29年 新しい水元総合スポーツセンター公園トイレへ

白石 広美（お花茶屋地域）

今から20数年前に、私はPTA役員副会長をしていて当時の校外委員の方から「とても良い活動があるので本校でもやりませんか」と言われたのですが、その時はお断りしました。PTA卒業後、青少年委員になりこの活動に出会い20年学習させていただいています。自分の学校ではもう少し学習してから実施しようと準備中に平成17年双葉中と上千葉小が合同で始める事となり1年間講座で学びました。この活動に興味を持ってくれる町会長がおり、まちづくり懇談会で活動報告した所、お花茶屋公園のトイレが建て替えすると教えていただきました。設計は出来ていたけれどもPTAの要望が通り新しいトイレを作っていただけました。区内の公園トイレの新設時には、2方向が開けていて、隙間を作り、誰でもトイレには警告灯が付くようになりました。私はこの活動で友達、仲間、知人が増えました。区内の学校の事も知ることができました。人が動くともちがわりより住みやすいまちとなります。これからも楽しい仲間と楽しくこの活動を続けたいと思います。



平成17年 新しいお花茶屋公園トイレへ

木村 美佐（お花茶屋地域）

「子どもを犯罪から守る」まちづくり活動を知ったのは、平成 18 年に PTA 本部役員になったときでした。平成 17 年から上千葉小学校は活動を始めていましたが、一般保護者だった私はどんな活動なのか興味を持つことはありませんでした。誰かの保護者が子どものためにしてくれているという意識だったと思います。本部役員になると、保護者が困らないように活動を運営することを考えなければなりません。本部役員の人数が少なく息つく暇が無いほど忙しい日々の中、事業の整理をしましたが、この活動はやめようとは思いませんでした。地域の方々も先生方も嫌な顔せず協力してくれて、何より子どものための活動なのを講座に参加するたびに感じていましたので、頑張ろうと思えました。活動によって様々な改善ができた

ことで、達成感も得ることができました。この活動があったからこそ、地域の方々と関わりを持つことができ、年上の方の気持ちや意見を聞くことができました。私もその方たちに素直に自分の意見を伝えることができています。我が子たちはそれぞれの道を歩き出しましたが寂しいと思うことは無く、自分の住むまちでたくさんの人と関りながら楽しく過ごさせています。小学生から大学生、若者たちの知り合いも増えて、このまちで安心して生活できると感じています。中村先生がお話ししていた「この活動は将来の自分たちのための活動」なのだ実感しています。



込田 友紀子（末広小学校）

私が、子どもを犯罪から守るための活動に参加したきっかけは、19 年前に発生した栃木での小 1 少女誘拐殺人事件でした。ちょうど下の子も入学し PTA 活動にも参加し始めたとき、下校時に不審者に声をかけられた我が子が隣のお婆ちゃんに助けられた経験などもあり、地域の見守りの重要性を感じました。PTA 本部に体験を話し、基調講演で中村先生の話聞いたことが活動の始まりでした。地域の協力が得られ、子どもたちの安全を守るための活動が始まりました。多くの年配者が協力してくれ、公園や通学路のチェック、子どもたちの見守りが行われました。この活動で地域の子どもたちが安心して外で遊べるようになり、地域のつながりも深まりました。年配者も子どもたちを見守る役割を持ち、元気でいられる



ようになりました。地域の見守り活動の成果として、子どもたちの被害件数も減少し、地域全体が一体となって安心して暮らせる町作りが進みました。この活動は、自分たちのまちを安心安全に作り上げるだけでなく、さまざまな年代の人々がつながり、皆が安心して生活できるまちを目指していくことだと思います。



←子どもたちからアンケートで聞いた所を、大人が見に行きどうして危険なのかを考え改善していきます。

竹内 理恵（お花茶屋地域）

10年前、お花茶屋駅前には放置自転車が多く、子どもたちから聞いたアンケートでも、怖い思いをした事例も上がりました。そこで、上千葉小PTA、双葉中PTA、お花茶屋地区委員会でワークショップを行いました。たくさんの自転車が、歩道の点字ブロックの上にまで停められていました。

地上の駐輪場が満車になると、地下駐輪場をご利用下さいと看板が出るのも私たちの取組みで実現しました。当時の地下駐輪場は利用料150円で利用者は少なかったのですが、私たちの訴えて100円に値下がりし、今では定期利用で3分の1が埋まっているそうです。このように、自分たちが改善計画を立てて、それが実現したときはとても嬉しいものです。

「子どもを犯罪から守る」まちづくり活動は、子どもの安全を考える事はもちろんですが、一緒に活動した保護者やまちの人同士が知り合いになり、仲良くなり一緒にまちを変えていく、まちづくりの活動です。自分たちのまちを安全に過ごしやすくする為に、まずは大人が子どもの為に行動してみましょう。



平成22年 お花茶屋駅前



令和6年 お花茶屋駅前

宮野 孝江（堀切地域）

平成14年に、子どもを犯罪から守るまちづくり活動を知りました。子どもたちが安心安全に過ごしてほしいなと思い活動に取り組んでいます。

この活動は継続が大切です。一度止まってしまうと活動の復活が難しくなります。そのためにも地区委員会で支援してきましたがコロナで難しくなっているのは事実です。私は、住んでいる地域が大好きです。そのため、地域に住む人の為に子どもの為に優しい気持ちで接します。常に地域のムードメーカーとして、地域や学校を盛り上げようと考えています。そんな気持ちが他の人にも浸透して、一緒に地域の為、子どもの為に動いてくれる人がたくさんできるといいなと思います。



★★★令和7年度の講座は以下を予定しています★★★

基調講演	令和7年6月21日	14時～	亀有地区センター
関係行政機関との懇談	令和7年12月6日	14時～	青戸地区センター
取組団体報告会	令和8年2月7日	14時～	亀有地区センター